

科目名	在宅看護学概論 Principles of In-Home Nursing		担当教員 (研究室番号)	日比野直子 (406)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・広域看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	在宅看護を必要とする背景を捉えながら、在宅看護実践の手段としての訪問看護の目的や特性について学ぶ。また、在宅看護展開に必要な家族支援に関連する理論や法制度、関係職種との連携について学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
到達目標	1. 在宅看護を必要とする背景が理解し説明できる。 2. 訪問看護の対象の特徴および訪問看護に関する制度が説明できる。 3. 在宅看護における倫理的課題および倫理的判断の考え方を理解し自分の考えを述べることができる。 4. 療養者を取り巻く環境(家族、制度など)を踏まえた看護職の役割について説明できる。											
成績評価方法(基準)	筆記試験70% (全講義数の内の2/3以上の出席がなければ試験は受けられない) レポート課題30% 出席はリフレクションカードで把握する。											
再試験の有無と基準等	科目の可否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請があれば面談を実施する。再試験は実施しない。											
教科書												
参考書等	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論第5版 日本看護協会出版会											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	学修項目と学習内容について関連するテキストなどを熟読し講義に臨む。講義中には、学生さんの考えや思ったことを積極的に発言してもらい、理解を深めてもらいます。社会の出来事やニュースに関心を持って臨んでください。											
備考												

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
1回	在宅看護とは何か 在宅看護必要とされる背景の理解 在宅看護の目的と特性	在宅看護の概念について学ぶ 1. 在宅看護をめぐる社会的背景 2. 在宅看護の特性 3. 在宅看護の機能と役割 4. 在宅看護の歴史と特性 事後課題：在宅看護の変遷について一覧にする	日比野	講義
2回	在宅看護の対象者の特徴	在宅療養者の特徴について理解する 1. 年齢、疾患、障害、状態別による特徴の理解ができる 2. 健康に影響する背景・要因と健康課題について理解する 3. 高齢化、環境変化を捉え健康課題について理解する	日比野	講義
3回	療養者を介護する家族の理解 要介護者を抱えている家族の理解	看護における家族とは何かについて考え対象を理解する 1. 家族の変遷 2. 現代家族の特徴 3. 家族看護とは何か 事前課題：教科書等を参考に「家族の定義」についてまとめ、「自分が考える家族とは」について自身の考えを書く	日比野	講義
4回	家族を理解するための基本的な理論 家族システム論・家族ストレス対処理論・家族の発達課題	療養者や家族を理解するための基本的な理論について学ぶ 1. 家族システム理論 2. 家族ストレス対処理論 3. 家族発達段階論	日比野	講義
5回	在宅看護のリスクマネジメント	療養生活上におこりうるリスクについて学ぶ 環境整備による安全確保、薬物による事故防止、感染防止、災害に対する準備と対応について理解する 事前課題：「自宅でできる転倒予防対策」について自身の祖父母が同居生活することをイメージして考える	日比野	講義
6回	在宅看護における意思と権利	在宅看護に必要な権利擁護、自己決定支援・成年後見制度・虐待防止法・個人情報保護について学ぶ 在宅療養者の置かれている状況を社会的背景から捉え倫理的課題について考える 事前課題：「高齢者虐待」「児童虐待」に関するそれぞれのニュース記事等を取り上げ自身の意見をまとめる 事後課題：「療養者が自己決定するにあたり看護者として必要な支援」について自身の考えをまとめる	日比野	講義
7回	訪問看護に関連する制度や法律 ケアマネジメントの概念	在宅療養を支える公的制度的概要と機能について理解する 1. 医療保険制度 2. 介護保険制度 3. 関連する社会福祉制度(障害児者、高齢者保健福祉、認知症、がん、難病対策など) ケアマネジメントの概念と社会資源の活用について学ぶ 事後課題：「介護保険制度」まとめ方は講義時に説明する	日比野	講義
8回	在宅療養を支える地域包括ケアシステム	医療・保健・介護・福祉の包括的な連携と多職種との協働について基本的な考え方について学ぶ 地域・在宅で活動する看護職の役割について考えることができる	日比野	講義

学 習 課 題

全ての講義の事前には、関連する資料やテキストを熟読し講義に臨むこと。第3・5・6回講義の事前課題については、関連書籍や資料を積極的に用いレポートを作成する。事前・事後課題の詳細については講義中に説明する。事前課題の提出はその日の講義開始時に提出とする。すべてのレポートの体裁は、A4サイズとし枚数は自由、手書き不可、表紙付きとする。事後課題は、次の講義時の開始前に提出する。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。